

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

愛と悲しみ、夢と現実。

葛藤を繰り返し、辿り着く、
熱狂のクライマックス！

燃え立つ青春の炎

マーラー《巨人》

スーク：弦楽のためのセレナード 変ホ長調 作品6
Suk: Serenade for Strings in E flat major, op. 6

マーラー：交響曲 第1番 ニ長調「巨人」
Mahler: Symphony No. 1 in D major "Titan"

読売日本交響楽団 第575回 サントリーホール名曲シリーズ
The 575th Suntory Hall Popular Series

10月17日(金) 19時開演

サントリーホール

Friday, 17th October 19:00 / Suntory Hall

SY7,200 AY6,100 BY5,100 CY3,600

読売日本交響楽団 第170回 東京芸術劇場マチネーシリーズ
The 170th Tokyo Metropolitan Theatre Matinée Series

10月19日(日) 14時開演

東京芸術劇場 コンサートホール

Sunday, 19th October 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre

SY7,200 AY5,100 BY4,100 CY3,000

ジュニアシート ¥1,500
(大人同伴の小中高生)

指揮= ペトル・ヴロンスキー

Conductor: Petr Vronsky

コンサートマスター=小森谷 巧

Concertmaster: Takumi Komoriya

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10:00~18:00・年中無休)

プレイガイド: チケットぴあ、e+ ほか <http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(トップレベルの舞台芸術創造事業)
事業提携: 東京芸術劇場 (10/19)

倉林靖 (音楽評論家) ヴロンスキーのマーラーに期待する

2011年の5月、読響の定期公演を聴いて、私は大興奮した。来日不可能となったズデニェク・マーツァルの代役で登場した、ペトル・ヴロンスキーという指揮者のマーラー〈第5番〉を聴いて、完全に打ちのめされてしまったのだ。これは滅多に聴けない、凄まじい名演奏だった。微妙に伸縮する、纏綿とした、血肉の染み通った旋律の歌わせ方。彫りの深い表情。迫力の全合奏も濃い意味を漲らせ、第3楽章でホルンのソロを立たせて演奏させるなどの演出も巧みだ。ヴロンスキーはこの夜、会場の聴衆を一気に制覇したように思えた。私にとって、「ヴロンスキーのマーラーをもっと聴きたい!」という切実な願いが高まった一夜でもあった。

その願いが、今年10月、ついに実現する。ヴロンスキーが再び、読響の指揮台に登るのだ。メインのマーラーは、交響曲第1番を振るといふ。〈第1番〉はマーラーの青春の結晶だ。自らの悲痛な恋愛体験を盛り込んだ自作の歌詞による歌曲集〈さすらう若人の歌〉の旋律が引用されており、楽章構成もその音楽の中味も、幾度もの紆余曲折を経てやっと完成にこぎつけた、初めての交響曲である。人生の目覚め、愛への燃えるような憧れや、激しい情熱、そして絶望が、あるいは皮肉や残酷なユーモアが、時に切々と、時にうねるように、時には嵐のように爆発して叩きつけられる。ヴロンスキーの、濃密に情感や意味が込められた演奏スタイルによって、この〈第1番〉がどう表現されるのか、大変楽しみなところだ。

いっぽう、演奏会の前半に予定されている曲目は、スークの〈弦楽のためのセレナード〉。スークはドヴォルザークに師事し、後に師の娘と結婚もした作曲家で、〈セレナード〉はスークが学業を終えた年に、まだ十代のうちに作曲されている。ドヴォルザークの有名なセレナードにも強く影響を受けながら、若き日の抒情と、温かい旋律に満ちている。前回来日時には、前半の曲目のモーツァルトで古典的な端正さも見せたヴロンスキーが、微妙な心理の襲も操りつつ、また地元チェコの詩情も浸み出させつつ、こうした曲をどう扱うかも、楽しみのひとつである。

スークとマーラーの、ともに青春の香りに満ちた名作を、円熟の域にある名匠の味付けでこそ、心ゆくまで味わってみたい。

1946年ブラハ生まれ。プザンソン国際指揮者コンクール、カラヤン国際指揮者コンクールに入賞。オペラや交響曲、古典から現代作品まで、幅広いレパートリーで活躍している。チェコ国内では、チェコ・フィル、ブラハ響、ブラハ放送響を指揮するほか、首席指揮者を務めたブルノ国立フィル、ヤナーチェク・フィルとはドイツやフランス等へのツアーも行った。2006年から、オロモウツ・モラヴィア・フィルの首席指揮者を務めている。ベルリン響、ドレスデン・フィル、ミュンヘン放送響、サンクトペテルブルク・フィルなど、世界各国のオーケストラに客演。オペラでは、ブラハ国立歌劇場、ブラハ国民劇場、モンテカルロ歌劇場、ウィーン室内歌劇場などで指揮している。録音も数多く、マーラー・イフラヴァ音楽祭での、マーラー〈悲劇的〉などがある。読響には87年に初めて客演。2011年5月に急速代役として24年ぶりに再登場し、マーラーの交響曲第5番などを演奏、喝采を浴びた。

Petr Vronsky

ペトル・ヴロンスキー (指揮)

読響日本交響楽団 第575回 サントリーホール名曲シリーズ

10月17日 (金) 19時開演

サントリーホール

S ¥7,200 / A ¥6,100 / B ¥5,100 / C ¥3,600

東京都港区赤坂1-13-1 Tel.03-3505-1001 (オフィス)

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅 (3番出口) より徒歩約5分、銀座線「溜池山王」駅 (13番出口) より徒歩約7分

読響日本交響楽団 第170回 東京芸術劇場マチネーシリーズ

10月19日 (日) 14時開演

東京芸術劇場

S ¥7,200 / A ¥5,100 / B ¥4,100 / C ¥3,000 / ジュニアシート ¥1,500 (大人同伴の小中高生)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【注意】東京芸術劇場には一時託児施設があります。芸劇キッズルームmuse (ミュージズ) 03-3981-7003 (10/19)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【団体割引】読響チケットセンターにて同一公演の1回券を10枚以上まとめてお求めになった方に団体割引をいたします。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】 ●未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択してチケットをご購入いただけます。(一部、携帯電話、スマートフォンなどを除く)

*郵送でチケットを受け取る場合、送料は無料です。

プレイガイド: チケットぴあ 0570-02-9999、サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10/17公演分)、東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296 (10/19公演分)、イープラス <http://eplus.jp/>